滝高フロンティアサイエンス通信

H26.6.30　SSH・理数科
第　４　号

１学年理数科「ＦＳＩ」缶サット体験実習リポート！！

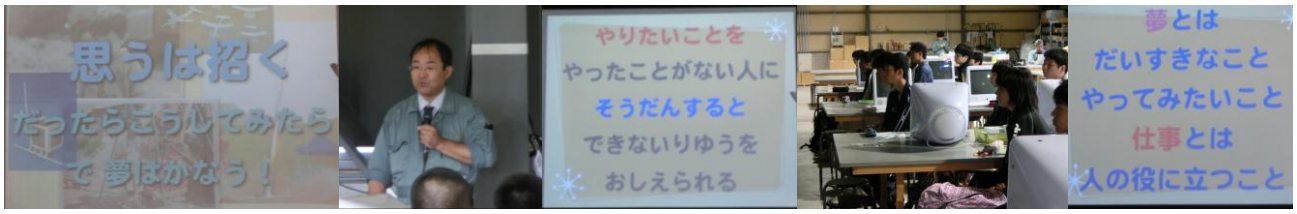
その１（第１回目　６月 19 日）

１学年理数科では、６月１９日（水）、２６日（木）の２日間、植松電機株式会社の協力を得て、缶サット（※）体験実習を行いました。今回はこの缶サットを実際に体験することで、宇宙開発、ものづくり、缶サットや電子回路、プログラミング、モデルロケット研究などへの興味関心を高めること、夢や目標に向かう意欲やチャレンジ精神の育成をはかることを目標としました。活動の様子を写真で紹介します。

※缶サットとは空き缶におさまる小型模擬人工衛星のことです。高校生でも取り組める宇宙開発プログラムです。この缶サットをモデルロケットに搭載し打ち上げ、データの回収と分析を行います。小型模擬人工衛星でどのようなミッションに取り組むか、さまざまなプロセスでアイデアやチャレンジがひつようとなります。

缶サットへパラシュートを取り付ける

◎植松電機　専務　植松努氏の講演「思うは招く～夢があれば何でもできる～」



◎缶サットの概要　安中俊彦氏　　◎マイコンの使い方　大塚徹氏　プログラミング手順　プログラム製作（気圧センサ作動）

◎缶サット（BB－Sat）製作　安中俊彦氏　　ブレットボードの組み込みと動作確認　空き缶加工とパラシュート取り付け

◎打上リハーサル　稲石卓也　氏　　事前準備作業確認　打上（放り投げ）→回収→飛行データ取得→データまとめ　手順書作成

第１日目を終えて　生徒の感想から

１日がとても短く感じました。植松さんのお話は面白くわかりやすく、とても深かったです。私もたくさん本を読み将来の自分の助けになるようにしたいと思いました。最初から「できなィーッ！」と決めつけるのではなく、何事にもチャレンジしていく人になりたいと思いました。私は、今日初めてプログラミングをしました。思っていたよりも大変な作業でした。打ち上げリハーサルは良い感じにできたので、次の打ち上げが楽しみです。！！